

# 大崎町の行財政改革について



中倉 毅議員

は豊かでないと言う人が多くなっています。

このことから、住民説明会での財政が豊かであるという当局の説明は、住民に対し、正しい情報を提供したとは思えません。むしろ、間違った情報を住民に提供した責任は重大であります。

多くの地域住民は、大崎町は町民自ら行政改革を徹底してやらなければ単独の道は厳しい状況になったと認識しています。これらのことを踏まえ、この前の住民投票の結果をどのように受け止めているか。

**町民の判断に従う**

**町長** 投票率が72%と高く、住民の判断がくだされたので、これに従って今後の

先の住民説明会では、執行部が示した財政シミュレーションや単独を推進するグループは、大崎町は財政的に豊かであり、単独でも15年間はやっていけると住民に説明された。この説明を聞いて多くの住民は、住民投票に参加しました。投票の結果はご承知のとおり、わずか19票という僅差でありましたが、町長と議会は住民の声を尊重し、単独を決定しました。

その後、私の地域の人やこれまで単独を推進してきた人達も大崎町の財政

町政を進めたい。

**行政改革の推進体系は**

**中倉議員** 行政改革の推進体系はどのようになっているか。

**三本柱を考えている**

**町長**

現在の行財政状況を広報紙等で知らせる。次に町長の諮問機関として、行政改革調査専門の委員会を設置する。次に町長を本部長とする行政改革推進本部や助役を委員長とする事務改善委員会を設置します。

**住民代表の参画は**

**中倉議員** 推進本部の構成員として、住民代表を参画させ

る考えはないか。

**考えていない**

**町長**

町民の意見や提言をいただくと共に専門員の形で参画してもらおう。

**委員の選定は**

**中倉議員**

専門委員十名の委嘱は決定しているか。また、委員はどのような視点で選定するのか。

**公募と選考で**

**町長**

決定していないので、8月頃公募と選考で実施したい。公募は、応募の動機や行政改革に臨む視点で、また、選考は、行政改革や本町の将来像の提言をいただける人材を求めたい。

**諮問の内容は**

**中倉議員**

町長は専門委員にどのような内容を諮問するつもりか。

**全体的にはまだ整理していない**

**町長**

現時点では、町四役の給料、職員定数、民間への委託業務、補助金、負担金等を考えている。

**今後のスケジュールは**

**中倉議員**

専門委員会の今後の作業スケジュールはどうか。

**8月より取り組む**

**町長**

8月に委員を決定し、9月に第一回委員会を開催し、12月に中間答申、来年3月に最終答申をした。また、議会にも報告したい。

## 町四役・町議会議員の給与・報酬

単位：円／月額

区分	給与・報酬
町長	772,000
助役	613,000
収入役	573,000
教育長	573,000
議長	308,800
副議長	254,800
議員	231,600